体験活動参加型＋講演会型（小学校）

学　校　名	可児市立東明小学校
実 施 日 時	平成２６年７月１３日（日）
会　　場	可児市立東明小学校　体育館
参 加 人 数	５６人
学習課題（分野）	親子防災講話とちょこっと料理
運営者の願い	いつ起こるか分からない災害に備えてのお話を聞いて、知識を得てから、親子で火を起こして非常食を活用した料理を作ってみたいという願いから企画した。

学　習　の　内　容

＜受付・開会＞
・受付を済ませてから、持ち物の確認をしてもらいます。
・パンを焼くために、炭の準備をします。
・手洗いと消毒で衛生に気をつけました。

＜参加者の感想から＞パンをこねるのが面白かったです。甘くておいしかったです。

＜非常食①　アウトドアなパンの生地作り＞
・パンの生地作りをします。
ビニール袋に材料（強力粉、砂糖、イースト、塩、バター、水、卵、トッピング材料）を入れて、５～１０分程もみます。その後、袋の空気を抜いてから袋の上の方を結びます。
・４０分、３８度くらいで発酵させます。
・袋から出して、棒に巻きつけます。
・１０分くらいかけて、炭で焼いて出来上がりです。

＜防災安全講話＞
・市役所防災安全課の職員から、「地震に備えて」の講話を聞きます。

＜参加者の感想から＞家族で防災を考えるよい機会となりました。災害の備えが何もないので、家で準備しようと思います。

＜非常食②　アルミ缶で味ごはん＞
・アルミ缶１個の上部とサイド２箇所を缶切りとカッターで切り抜きます。
・牛乳パックを３㎝くらいの短冊に切り、３パック分が燃料です。
・もう一つのアルミ缶に、米と具材（ツナ、コーン、塩昆布）と水を入れます。
・下のアルミ缶の中に燃料の牛乳パックを入れて、米などの入ったもう一方のアルミ缶を縦に積んで、点火して炊きます。
・３パック分の燃料が無くなったころが炊き上がりです。

＜参加者の感想から＞アルミ缶でごはんが食べられるなんて、驚きました。身近な素材で何とかできるものなのだと感じました。

＜閉会＞
・味見をして、感想を書いて閉会しました。

＜参加者の感想から＞すごく貴重な経験ができました。家でもう一度やってみたいと思います。

いつ起こってもおかしくない災害への意識を親子で高めようとする取組である。
知識を得るだけでなく、実際に身近な道具を使った炊事体験があり、体験して備えることは貴重であると感じた。

活動がスムーズに行われるようにと、役員の方々の準備が万全であった。
グループごとに、材料が分けてあって、指示や説明が的確だったので、段取りよく作業にとりかかれていた。
当日の講座のために、試作もされたとのことであった。